学校番号	２１０

令和５年度　書道科

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「書道Ⅰ」　（教育図書）・書道Ⅰプライマリーブック						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・書写から書道への発展を用具用材の違いによる変化を学ぶ。
・楷・行・草書の三書体を、古典を通じ時代順に臨書を学ぶ。
・仮名の基本、古典の臨書を学ぶ。
・創意工夫で自分らしい文字表現の作品作り。

2　学習の到達目標

・「書」を自己表現として関心を持たせる。
・毛筆の特性や技法を身に付け、線質と墨・紙・筆との関係を持たせる。
・書の良さや美しさを感じ取り、創造的な表現を工夫し、感性を豊かにする。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現方法や形式、多様性について幅広く理解している。 ・書写能力を向上させると共に、書の伝統に基づいて作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付け、表している。	書の良さや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。	主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に３段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

月	単元	学習内容	単元(題材)の評価規準	主な評価の観点		
				知(a)	思(b)	主(c)
四	書体の変遷	・三書体の説明 ・自分の名前調べ(各書体)	a:名前の各書体を調べ、五書体の違いに関心を持つことができる。 b:三書体を理解できる。 c:小筆の弾力感覚を身に付ける。 d:名前の三書体を理解できる。	作 品	プリント	振り返りプリント 観 察
五	楷書の学習	・楷書の成立と特徴 ・九成宮・孔子廟堂碑の臨書	a:楷書に関心・興味を持たせ、歴史的位置づけを理解できる。 b:九成宮・孔子廟堂を通じ、用筆、運筆を習得できる。 c:２つの古典作品から１つ選び、半切二分の一に臨書できる。 d:各作品を鑑賞し合い、書美に対する感性を身に付ける。	作 品	プリント	振り返りプリント 観 察
六	行書の学習	・行書の成立と特徴 ・蘭亭叙・風信帖の臨書	a:行書に関心・興味を持たせ、歴史的位置づけを理解できる。 b:蘭亭叙・風信帖の臨書を通じ、用筆・運筆を修得できる。 c:２つの古典から１つを選び、半切二分の一に臨書できる。 d:各作品を鑑賞し合い、書美に対する感性を身に付ける。	作 品	プリント	振り返りプリント 観 察
七	篆刻の学習	姓名印を刻す(朱文印)	a:印の歴史と用途に応じた印の種類を理解できる。 b:印刀の使用方法を修得できる。 c:姓名印を刻すことができる。 d:作品に押印するセンスを身に付ける。	作 品	プリント	振り返りプリント 観 察
九	草書の学習	・草書の成立と特徴 ・書譜・十七帖の臨書	a:草書に関心・興味を持たせ、歴史的位置づけを理解できる。 b:書譜・十七帖の臨書を通じ、用筆・運筆を修得できる。 c:２つの古典から１つを選び、半切二分の一に臨書できる。 d:各作品を鑑賞し合い、書美に対する感性を身に付ける。	作 品	プリント	振り返りプリント 観 察

十・十一	仮名の学習	・仮名の成立と特徴	a:仮名に関心・興味を持たせ、歴史的位置づけを理解できる。 b:仮名の基本を修得できる。 c:変体仮名を理解できる。 d:仮名の美しさを理解し、身に付ける。	作 品	プリント	振り返りプリント 観 察
十二・一	仮名の臨書	・蓬莱切を臨書	a:仮名に関心・興味を持たせ、歴史的位置づけを理解できる。 b:蓬莱切を通じ、用筆・運筆を修得できる。 c: 蓬莱印を料紙に臨書できる。 d:各作品を鑑賞し合い、書美に対する感性を身に付ける。	作 品	プリント	振り返りプリント 観 察
二	作品内容未定	・三書体または仮名より1つ選び創作 ・色紙カレンダー作成	a : 文字を創作するセンスを身に付ける。 b : 三書体と仮名の創意工夫ができる。 c:自分表現の文字を創作できる。 d:各作品を鑑賞し合い、書美に対する感性を身に付ける。	作 品	プリント	振り返りプリント 観 察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度